



虹の架け橋

平成30年10月23日
印西市立西の原小学校
校長室便り No. 14

激闘！ 運動会2018

10月13日(土)、2018年の運動会が開催されました。今年の天候は予測がつかず、7月の猛暑では、小学1年生の児童が校外学習の後亡くなるという悲惨な事故が起こりました。9月に入ると暑さは引きましたが、毎週末雨という悪天候が続きました。13日は、曇りでしたが昼前に雨が降り、昼食時には急遽校舎を解放する事態となり、保護者・ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしまして申し訳ありませんでした。午後は雨も上がり、種目では「大玉送り」以外の競技・演技を実施することができました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

運動会では、子どもたちが一生懸命にがんばる姿があちらこちらで見られました。初めての運動会で、並んだり集団行動をしたりと、何かと戸惑うことが多かったと思われる1年生も、お兄さんやお姉さんに助けをもらいながら精一杯の演技・競技を行いました。



5・6年生は、演技・競技だけでなく様々な係の仕事をがんばりました。

4年生からなる応援団は、朝練・午後練を行うだけでなく、各学年に応援の仕方を熱心に教えるなど、その取り組みには目を見張るものがありました。また、応援団ではない全校の子どもたちも、応援練習を一生懸命に行い、当日も全身全霊で応援しました。

表現運動は低・中・高学年、どの演技もすばらしかったです。アップテンポの曲を見事に踊りこなす子、楽しそうに踊る子を見ていると、自分の子どもの頃の踊りのセンスの違いに驚くばかりです。また、指導している先生方もすばらしいセンスの持ち主です。こんな先生方だからこそ子どもたちの良さを伸ばしてくれるのだとも感じました。



低学年のチェッコリ玉入れはかわいらしく、中学年の綱引きは力強く、高学年の騎馬戦は激しく、それぞれの団体種目も熱が入ったものでした。徒競走やアイディア走など、真剣勝負や意外性にかける勝負も盛り上がりました。勿論、勝運をかけた紅白リレーも。全校児童が一つになって応援する姿に、子どもたちの底知れないパワーを感じ感動を覚えました。



今年の保護者競技は「保護者 VS 児童 VS 先生 (& 児童の家族) リレー」でした。ミッキーやミニーの帽子をかぶるなど、西の原っ子応援団の役員の方々がユニークなルールを考えて下さり、楽しく行うことができました。親子でデカパンをはいて走る1年生と6年生のアイディア走、おやじの会の皆様が出場して下さいった5年生のアイディア走など、多くの保護者、ご家族の皆様のお力をお借りしました。本気になって走る大人の方々に怪我人が出てしまわないかと心配されましたが、怪我がなかったことが何よりでした。ご協力ありがとうございました。



運動会あけの16日(火)、全校朝会がありました。そこで、子どもたちとともに写真を見ながら運動会を振り返りました。そして、子どもたちが見せてくれた素晴らしい姿の話をしました。

赤組は、紅白リレー・応援合戦を制し総合優勝を遂げました。赤組からは大歓声があがりました。一方、準優勝となった白組応援団長は、白組に向かって「やったぞ!」と高らかに声をあげました。それに「おう!」と大きな声で応えている応援団がいました。悔し涙を流している子もいました。優勝に歓喜する赤組も、精一杯やりとげた自分自身を奮い立たせている白組も、悔しさに耐えきれず涙を流す白組も、そこに本気で取り組んだ子どもたちの素晴らしい姿がありました。

運動会が終わり、季節は秋まただ中です。学習は勿論、芸術・文化等充実する季節。運動会で学んだことを、これからの生活に活かしてくれることを大いに期待しています。

西の原っ子応援団の皆様、おやじの会の皆様をはじめ、保護者の皆様には運動会までも当日もたくさんのご支援をいただきまして本当にありがとうございました。これからも、ご理解・ご協力をよろしく願います。



